自己点検評価及び学校関係者評価　報告書

（令和７年度の評価）

自己評価実施及び報告書	令和８年７月８日
学校関係者評価委員会	令和８年１１月２日

学校法人みのり学園

琉球調理製菓専門学校

学校法人みのり学園

自己評価及び学校関係者評価　報告書（令和７年度の評価）　琉球調理製菓専門学校

自己評価　令和８年６月３０日

学校関係者評価委員会　令和８年１１月２日

※自己評価項目別 評定値(3～1)

評定値の説明

3　基準を上回り、特質すべき取組等を行っている

2　基準をおおむね満たす場合

1　基準を満たしておらず改善が必要

１.教育理念・目的・育成人材像

※評価欄の（　）は前年度評価

No.	評価項目	評価	取組状況
1	教育理念・目的・目標は、定められているか	3 （3）	・教育理念、教育目標、育成人材像は、「学校経営要覧」「学則」に明記して関係監督所管並びに学校関係者、理事役員等に提出（届出）・報告がなされている。 ・「校則」・「学生心得」を新入生オリエンテーションで配布し、入学生と読み合わせを行い、重要事項についてはその都度説明を行い、周知徹底している。
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適しているか	3 （3）	・教育課程ごとに関連業界等が求める知識・技術・技能・専門性に係る質向上の要件をカリキュラム等に組込み、学校経営要覧にて教育方針として示している。 ・関連業界（産業）からの講師を擁して業界の求める人材育成像に適応するよう協力を得ている。また、掲載しているシラバスを全学生へ配布している。
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	3 （3）	・併設の「みのり幼稚園」との交流授業が本校の教育理念の実践の場となっている。 ・特別講師を招いての授業や講習で特色ある職業実践教育に取組んでいる。
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3 （3）	・中期的な視点での構想は、施設代表者、理事役員等、を中心に具体的に進めており、適宜に教職員等に対しての情報共有がなされている。 ・保護者・学生・関連業界への周知・告知等は、必要に応じて適宜情報共有を図っている。

教育理念・目的・育成人材像 学校関係者評価	・教育理念が明確である。また、併設のこども園との交流授業・食育実習など特色ある実践教育は評価できる。

２.学校運営

No.	評価項目	評価	取組状況
1	理念等に沿った運営方針を定めているか	３ （３）	・毎年度の学校経営要覧で学園創立時からの建学、教育方針を明確に示し、その目的、目標に沿った運営方針が文書化されて周知を図っており、理事役員・教職員ともに理解と協力を得られている。
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	３ （３）	・教育理念を達成するための教育プログラムを組んで単年度の事業計画を定めている。 ・中期的には、学園移転後の充実した施設運営と教育方針の達成を目指している。 ・事業計画の執行・進捗管理等の業務分担は、経営陣により適正に実施され教職員への説明もなされている。
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	３ （３）	・法人全体の理事会、評議員会議は寄附行為に基づき適切に開催されている。 ・理事会、評議員会は必要な審議を行い、適切に議事録を作成している。 ・寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正している。
4	学校運営のための組織を整備しているか	３ （３）	・組織図は毎年更新し、教職員に配布している。 ・規則及び規定は理事会を経て改正し、改定後は県所管に届け出ている。 ・事務職員には必要な研修を実施し、制度等の説明会にも積極的に参加している。
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	３ （３）	・給与規定に基づき給与を支給している。 ・採用は、適宜ハローワーク等で採用広報している。
6	意思決定システムを整備しているか	３ （３）	・所属長の権限を明確にし、事案によっては所属長の判断を確認しながら業務にあたっている。 ・原則、全て理事長決裁としている。
7	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	３ （３）	・学生情報を管理するシステムを活用している。 ・学生の出欠や遅刻等システムを活用して運用している。 ・データは蓄積されていくので、毎年度新しい情報が入っていく。

学校運営 学校関係者評価	・学校経営要覧等を通して、教職員とも情報共有が図れており、基準を満たしている。

３.教育活動

No.	評価項目	評価	取組状況
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	３ （３）	・毎年度の学校経営要覧で学園創立時からの建学、教育方針を明確に示し、その目的、目標に沿った運営方針が文書化され周知を図っており、理事役員・教職員ともに理解と協力を得られている。
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	３ （３）	・各コース科とも年度毎に教育理念に沿った教育目標を学校経営要覧等に明記して学内外に周知している。 ・目標とする教育到達レベルは、ガイダンス、シラバス、学則、学校経営要覧、学校案内パンフレット等で明示し、周知を図っている。 ・取得を目指す資格・免許については、その意義及び取得の支援体制を整え、資格のある教職員を配置して目標の到達を図っている。
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	３ （３）	・教育目的・目標に沿った教育課程を編成している。 ・法令遵守のもと、校務分掌で明文化して主任・専任教員を中心に教育課程を編成している。 ・授業科目の開設は、法令を遵守して適切な配分及び修了に係る授業時数を明示している。 ・職業実践教育の視点で各教育科目の内容を適切に配分し、関連業界・関係産業の協力を得て実施されている。 ・学校経営要覧・シラバス・校則・学生心得等で授業科目の目標及び内容を明文化し、学生・学校関係者への周知を図り理解と協力を得ている。
4	教育課程について外部の意見を反映しているか	３ （３）	・教育課程の編成及び改定において、在校生の意見聴取は各科目の教員や担任が行っている。 ・卒業生については、機会あるごとに聴取して参考にしている。 ・教育課程については、関連産業や外部講師陣の意見及び学校関係者評価委員、教育課程編成委員会(令和７年度新設)の提言等を参考に策定している。 ・職業実践教育の効果について、卒業生・関連就職先の担当者に情報を提供してもらう等、理解と協力を得ている。 ・本校の教育プログラムは、学生の技術・技能の資格取得率に反映されている。
5	キャリア教育を実施しているか	３ （３）	・キャリアサポーターを配置して必要に応じたキャリア教育を実施している。 ・学生の面接試験、入学後の個人面談時、学期毎の始業式において学生全体を指導している。 ・校内での会社説明会に卒業生配置を依頼しキャリアモデルに接する機会を設けている。 ・卒業生・就職先等の担当者の来校・来訪時に重点的に聴取して定着率の良さ等、概ね高い評価を得ている。
6	授業評価を実施しているか	３ （２）	・教科担当、クラス担任等により学期末や卒業時に学生に対し全クラスにアンケートを実施し、授業評価をしている。アンケート結果については、非常勤講師・専任教員・学校長・役員間で情報の共有し授業改善に活用している。 ・関連業界等に校外実習時の成績評価を依頼し、理解と協力を得ており、その結果を共有している。
7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	３ （３）	・成績評価・修了認定基準は、学則に規定して明確化している。 ・校則等に明示して入学時オリエンテーションで読み合わせを行い、学生には学生心得等と併せて配布し、持ち帰って保護者への周知・協力を得ている。 ・成績評価・修了認定の基準を適切に運用するため。データ化して月次報告、会議等を開いている。 ・入学前の履修、他の教育機関の履修の認定については、運用実績がないので事例により協議決定する。

３.教育活動 続き

No.	評価項目	評価	取組状況
8	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	３ （３）	・これまでの県内、全国大会等コンテストへの参加、受賞状況について把握している。 ・校内作品展等は、カリキュラムで実施して評価・表彰するなど研究業績を把握している。
9	目標とする資格・免許は、教育上で明確に位置づけているか	３ （３）	・目標とする資格、免許の内容、取得の意義についてガイダンス・学校案内等で明確にしている。 ・資格免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等についてカリキュラムで明確にしている。
10	資格・免許取得の指導体制はあるか	３ （３）	・資格・免許の取得について、有資格者の教員を配置して指導体制を整備している。 ・不合格者には再試、追試等の指導体制を整備している。卒業生には必要な情報の提供をしている。
11	資格・要件を備えた教員を確保しているか	３ （３）	・教科を担当する教員は関連法令に定められた教員資格要件を充たす者を配置し、必要な資格・免許については原本確認をしている。 ・教員の知識・技術・技能レベルは関連業界、関係団体からの推薦等、連携して授業を担当。業界の理解と協力を得ている。 ・専任、兼任等の教員構成を毎年度の学校経営要覧で明示して所管に届け出ている。 ・教員一人当たりの授業時数、学生数等は法令どおりに運用、把握している。
12	教員の資質向上への取組みを行っているか	２ （２）	・教員の専門性、教授力は全教員が資格要件を充たしており把握評価している。 ・関係団体等の研修等には、学校授業カリキュラムを勘案しながら参加している。
13	教員の組織体制を整備しているか	３ （３）	・教員の組織体制は各科毎に整備されている。 ・専任・兼任教員間の連携・協力体制は構築されている。 ・教員組織における業務分担・責任体制は校務分掌で明確に定め、授業内容や教育方法の改善については必要に応じて職員会議等で話し合える環境にある。 ・職員室での待機時間や年度初め・卒業式後等で非常勤講師の集まる中で年間の指導方針、指導評価を相互理解する情報交換の場となっている。

教育活動 学校関係者評価	・「キャリア教育」の強化をし、就職後のミスマッチを防ぐ対策を行うことが必要。 ・おきなわ洋菓子技術コンテストでの金賞や調理技能競技大会での 3 年連続金賞受賞は教育成果の賜物である。 ・教員の資質向上について、更なる取組み強化を図って欲しい。

４.学修成果

No.	評価項目	評定	取組状況
1	就職率の向上が図られているか	3 （3）	・就職率は 100%を目標に設定しており、前年度は 93.3%の実績。令和 7 年度は就職希望者 84 名中 83 名が就職決定、就職率は 98.8%と前年を上回った。 ・校務分掌で進路を担当する教員はじめ担任等の専任教職員及び兼任講師も含めて支援に当たっている。 ・就職状況はデータ化して適切に管理把握して企業との連携で会社説明会等を開くなど就職支援に繋げ成果を出している。
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	2 （2）	・資格の取得率は、100%を目標にして例年 80～100%の高率で推移している。 ・特別授業、ビジネスマナー等、授業を補完する取り組みを行っている。 ・合格実績は、100%に近い高い水準を充たしている検定もあるが、80%を下回る合格率の検定もある。毎年度の卒業要覧、学校経営要覧に資格取得実績及び合格率を記載して関係者に報告ができている。全国平均を下回った場合は、指導方法について協議し次年度に繋げている。
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	3 （2）	・卒業後の実態を調査等で明確に把握できていないが、就職先の担当者や卒業生の来校時等に現況の聴取を行っている。 ・令和 7 年 10 月に学校創立 50 周年記念パーティーを実施し、卒業生を招待。卒業生と学校、卒業同士の親交を深めた。今後学校との繋がりを活性化していき、業界内で活躍している卒業生の把握を更に努めていきたい。 ・卒業生のコンテスト参加、受賞状況、業績等の情報も聴取把握している。 ・卒業生の活躍等については、就職先の企業説明会や関係産業・関係団体との連携で随時情報を把握している。

学修成果 学校関係者評価	・資格・免許取得率の向上については、更なる取組み強化を図って欲しい。 ・卒業生の社会的評価の把握において、卒業生を招待しての創立 50 周年記念パーティーの実施など評価できる。

５.学生支援

No.	評価項目	評定	取組状況
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	３ （３）	・年３～４回の進路調査、個人面談、随時の就職相談を実施して情報を共有している。 就職・進学担当教員と担任、兼任教員との連携で就職等、早い段階での進路確定ができている。 ・関連する業界等との連携、学内での会社説明会等の開催により支援体制が構築されている。 ・履歴書の書き方、面接指導、ビジネスマナー講習をとおして学生の就職指導がなされている。 ・学生の就職に関する個別の相談には、担当教員・担任等が適切に対応している。
2	退学率の低減が図られているか	２ （２）	・退学者数や退学理由等は専任教員間で情報共有･把握している。 ・出席率の悪い学生について､担任･教頭･校長による個人面談と保護者への報告､文書通知等で連携して退学防止に努めている。 ・大型連休、夏休み、冬休みの前後に学校全体で学生の修学態度等を注視して声掛けを行っている。 ・７年度後期より「退学防止対策会議」を月１回実施。学生の状況をクラス担任だけでなく全体で共有し、防止策を検討している。 ・当年度は 4.9%（前年度 3.7%)、前年比 1.2%の悪化
3	学生相談に関する体制を整備しているか	３ （３）	・学生･保護者との連携と併せて、事務員・担任・教頭・校長を含む専任教員全員が学生の学修態度や日常の変化に目配りして声かけを行い、相談できる教育環境づくりをしている。 ・学生には生活環境や身体上の変化について担任に相談することで問題の改善、解決に臨めることを周知している。 ・医療機関への受診等は、保護者との連携で対応している。
4	留学生に対する相談体制を整備しているか	３ （３）	・令和７年度は中国からの留学生１名が調理師科に在籍。 ・留学生の入学資格の確定、在留確認、就職支援、指導記録の保存等に対応できる知識を有している教員の配置環境は整備できている。 ・令和８年度は留学生の在籍無し
5	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	３ （３）	・県内の給付型の奨学金、各種公的機関の紹介を行っている ・学費免除、分割納付は個別に対応している。 ・大規模災害発生時及び家計急変の支援等は国及び県所管部署の通知指示に従って対応している。 ・ＯＰキャンパス等に参加した保護者等へも学費・奨学金等の案内を(希望があれば個別でも)行っている。
6	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	３ （３）	・当校全体が衛生施設であり学生の健康管理には特に注意を払っている。 ・学校医の選任はしてないが､体調の悪い学生が一時休養できる保健室(ベット２床)を整備し、１時間ほど様子をみて帰宅や近隣病院受診を促している。 ・応募時の健康診断書でアレルギーの有無等を把握し、入学時までにアレルギー検査を行うなどし、その他の有所見者にも個々に対応できている。 ・令和４年度より、全学生一斉健康診断を実施している。

５.学生支援 続き

No.	評価項目	評定	取組状況
7	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	２ （２）	・学生寮なし ・遠隔地や離島からの就学者には近隣のアパート紹介等で対応している。 ・学生の生活状況は個人面談等で把握し、独り暮らしの学生の登下校や下校後の生活指導や欠席・病休等で出席しない場合でも電話等で状況確認をしている。
8	課外活動に対する支援体制を整備しているか	３ （３）	・学校が管理している課外活動なし。 ・学生個人の活動は面談や平素の情報共有で把握しており、大会成績などの実績は履歴書への記載を指導している。
9	保護者との連携体制を構築しているか	３ （３）	・出席率が 80%に満たない学生には、毎月の出席率を学則に沿った基準で保護者に文書･電話等で通知し連携している。 ・卒業記念ビュッフェを開催し、学修成果をみる機会を保護者へ提供している。 ・必要に応じて保護者との三者面談を行うなど適切に連携ができている。 ・学生カードを整備して緊急時の連絡体制を整備している。
10	卒業生への支援体制を整備しているか	３ （２）	・再就職、キャリアアップ等には在校時担任、キャリアサポーター教員が適宜支援している。 ・令和 7 年 10 月 4 日に開催した学校創立 50 周年祝賀会で、卒業生に琉調同窓会を立ち上げを告知、卒業生と学校の連携強化を図っていく計画。
11	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	２ （２）	・関連産業、関係業界・団体からの要請に基づく連携・協力を行っている。
12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	３ （３）	・調理師科は専門実践教育訓練給付制度の指定校で社会人の学び直しに門戸を開いている。 ・社会人の就職、進学についての個別相談は担任、キャリアサポート担当教員が行い対応できている。

学生支援 学校関係者評価	・退学対策については、退学率の低減を図る取組みを継続していただきたい。 ・全体的に基準を満たしていると考えられる。

６.教育環境

No.	評価項目	評定	取組状況
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	３ （３）	・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等は、法令に沿った内容で整備されている。 ・施設内の衛生管理は、清掃及び完了後チェックの日々対応ができている。 ・令和５年４月より校舎を新築移転し、最新の設備環境にて授業を行っている。
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	３ （３）	・卒業前年の各コース科については校外実習（学外実習）を行ない、実習意義や教育課程上の位置づけを明確にしている。 ・校外実習等については、実施要項・実習日誌・説明会・マナー講習等を整備して適切に運用している。 ・校外実習期間・関連業界との連携･協議は、各科で調整し資格要件のある指導者の評価を依頼している。 ・学外実習後に報告会を実施して教育効果の確認をしている。 ・学校行事運営に学生の積極的な参画を図っている。（パン販売、琉調レストラン他）
3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	３ （３）	・自衛消防組織図に基づき、年１回の避難訓練を行っており、訓練は避難マニュアルに沿って実施している。 ・管轄消防署にも避難訓練の実施通知を行い、連携の上、訓練を実施している。 ・消防設備は定期的に専門業者による保守点検を実施している。
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	３ （２）	・防犯カメラ及び催涙スプレーを常備し、防犯意識を高めている。 ・専用の棚に保管されている薬品の中に保管期限切れのものが発見された為、薬品等の廃棄を専門業者に依頼し、適切に廃棄処分を行った。

教育環境 学校関係者評価	・教育環境においての防災や安全管理の取組みは、引続き重点を置き行っていただきたい。

７.学生の募集と受入れ

No.	評価項目	評定	取組状況
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	３ （３）	・進学説明会に参加し、本校の教育活動等の情報提供を行っている。 ・高等学校の教職員の見学研修の受入れを行い本校の教育活動等に対する理解を得ている。 ・「学校案内（ｽｸｰﾙｶﾞｲﾄﾞ）」は教員、高校生、保護者、社会人の区別なく広く一般に本校の教育活動の内容を理解してもらうために作成し、ホームページでも開示している。
2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	３ （３）	・沖縄県専修学校各種学校協会の取り決めに従って、募集活動と願書受付を行っている。 ・県内外、海外の志願者からの入学相談にはメール等で対応できている。 ・現役プロによる実習授業や特別授業・併設幼稚園との交流授業等で特徴ある教育活動と関連資格の取得推進による学修成果を学校案内・ＨＰ等の広報活動で紹介している。 ・広報活動・学生募集活動において得られた個人情報等は適切に管理されている。 ・オープンキャンパスは高校生や社会人が参加し易い土曜日を中心に開催している。 ・離島・県外からの入学志願者は、本人の要望に応じて対応している。 ・沖縄県立職業能力開発校の委託訓練として職業訓練生の受け入れを行っている（令和７年度は７名）。
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	３ （３）	・入学選考基準は学生募集要項に明記し、選考試験は適切に行なっている。 ・入学選考の公平性を確保するための合否判定は全専任教員の協議により適切に判定している。
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	３ （３）	・入学選考に関する実績はデータ化して蓄積し、適切に管理して教育カリキュラム・授業内容、方法の改善等に活かしている。 ・進学ガイダンス参加者数、オープンキャンパス参加者へのアンケート等で学科別応募者数の予測数値等は概ね把握できている。 ・財務等の計画数値との整合性は２月頃の入学決定者数前年度比を以って整合性を図っている。
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	３ （３）	・学納金は諸状況を勘案し、理事会で決定して必要な費用は募集要項に記載している。 ・検定料等の徴収は保護者へ文書にて明示・通知し、理解と協力を得ている。 ・の令和８年度分校納金引き上げを行い、募集要項にも反映済み。
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	３ （３）	・入学辞退者に対する授業料等の返還については学生募集要項に明示し、適切に取扱い対応している。

学生の募集と受入れ 学校関係者評価	・基準を十分に満たしている。

８.財務

No.	評価項目	評定	取組状況
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	３ （３）	・応募者数・入学者数のみならず、資料請求者数及びＯＰキャンパス参加者数の推移を把握し、その分析を行っている。12 月までに推薦・一般入学までに定員の 80%を目標に募集活動を強化する。学生在籍率令和 7 年度 81%、令和 8 年度 79%。 ・令和 8 年度から材料費等の高騰を踏まえ、質の高い教育を維持するため校納金の値上げを行った。 ・学校施設(教室・実習室)の貸し出しについても取組み強化を図っており、HP にも貸出規定・申込書等を掲載している。
2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	３ （３）	・監査人に税理士１名、司法書士１名を配置し、財務分析を行っている。
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	３ （３）	・主に前年度の実績を踏まえ、改善が必要と思われる事項を評議員会・理事会で話し合い、予算編成している。
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	３ （３）	・経理規程を設け、予算執行の際には所属長へ承認を伺い、執行している。
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	３ （３）	・監事２名により、毎年財務状況や理事の職務状況の監査を受けている。 ・監査報告書を作成し、理事会で報告している。
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	３ （３）	・公認会計士確認の下、財務諸表を作成しホームページで公表している。 ・財務帳票等は、作成後公開しており、適切に運用している。

財務 学校関係者評価	・概ね基準を満たしており、引続き予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っていただきたい。

９.法令等の遵守

No.	評価項目	評定	取組状況
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	３ （３）	・規程変更やその他、必要な届出はその都度適切に届け出ている ・就業規則やその他の規程を社労士に適宜相談した上で設け、職員研修等で周知している。
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	２ （２）	・就業規則第 48 条に個人情報管理義務内で個人情報の取り扱いに関して明記し、遵守・運用している。
3	自己点検評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	３ （３）	・学則については随時整備しており、変更がある場合は、理事会の決議後に監督所管に届け出ている。 ・自己点検評価の実施は平成 31 年度からの取組みで、規程整備・自己点検評価の組織体制を整備して評価を行っている。 ・自己点検評価結果後適宜、課題の改善に取組む体制となっている。
4	自己点検評価結果を公表しているか	３ （３）	・自己点検評価は平成 31 年度からから実施し、報告書に取りまとめ、評価結果をＨＰで公表している。
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	３ （３）	・学校関係者評価の実施体制を整備して評価を行っている。 ・学校評価委員会の評価結果に基づき、課題の改善に取組む姿勢で取り組んでいる。
6	学校関係者評価結果を公表しているか	３ （３）	・評価結果は報告書に取りまとめ、ＨＰに掲載するなど広く社会に公表している。
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	３ （３）	・学校の概要、教育内容と活動、教職員等の教育情報はＨＰ、学校経営要覧、学校案内、シラバス等で積極的に公開している。 ・学校関係者評価委員会を経て、法令に定められた項目の情報を積極的に公開している。

法令等の遵守 学校関係者評価	・適正に行われている。

１０.社会貢献・地域貢献

No.	評価項目	評定	取組状況
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	３ （３）	・本校は、沖縄県浦添市に在し、浦添市商工会と連携して市の推奨する桑の葉を使った商品開発を目的とした「桑っち一グランプリ大会」に参加、２年連続学生の部グランプリ受賞。那覇市沿岸漁協との連携でマグロを使ったレシピ料理大会第一位の実績がある。平成 31 年度は、JA おきなわ主催の「県産黒糖を使ったスイーツコンテスト」でグランプリを受賞。受賞作品は現在商品化され市場販売されている。 ・調理師養成では職業能力開発校からの「長期高度人材育成コース」の受託、高等学校が行うキャリア教育等の出前授業、沖縄県教育庁主催の「県民カレッジ」やシルバー人材センター連合会の主催する「シニアワーク講座」等の開講実績がある。 ・環境問題など重要な社会問題については教科の中て担当講師が指導している。 ・学校行事、料理試食の際は紙皿等の使用を控え、水・環境の保全など限りある自然資源に対する教育指導を行っている。 ・学校の創立５０周年記念事業の一環として「親子お菓子・料理教室」を開催。２回の開催で 17 組が参加し、好評を得た。 ・令和７年７月には、浦添市市制 55 周年記念式典にてお祝いケーキを作成し舞台上で披露した。
2	国際交流に取組んでいるか	３ （３）	・主にアジア圏との交流ができないか模索。令和４年度に外国人留学生を１名、令和７年度は１名受入れ。今後も留学生の受入れや在学生の派遣等が実施できないか、引き続き調査・検討を行う。
3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	３ （３）	・学生のＯＰキャンパスの補助等、ボランティア活動を奨励している。 面接試験に於いてもボランティア活動の一つに上記をあげて積極的な参加を奨励している。 ・学生で構成する各種委員会を立ち上げ、スポーツレク、ビーチや施設等のクリーン活動、卒業式の学生セレモニー等の活動もボランティアとして奨励している。

社会貢献・地域貢献 学校関係者評価	・創立 50 周年記念の親子お菓子・料理教室のような地域貢献活動を継続して取組んで欲しい。